



Pick Up News 今号では院生・学生の活躍を多くお届けすることができました。他大学の学生に勝るとも劣らない成果の数々です。自信をもって本学での学びの歩みを続けてください。先日のオープンキャンパスでも仙台・宮城をはじめ、東北各県や栃木、富山などからも高校生が訪れてくれました。他の大学と比較して、本学の学びに興味を持った、ぜひともここで学びたい、そんな声も多くいただきました。うれしいことです。対応にあたってくれた学生さん一人ひとりの姿、受け答えの様子にさらにその気持ちを高めたことでしょう。ご協力くださった学生の皆さん、ありがとうございます。さて、前期も大詰め。最終の課題提出、定期試験の準備など、その対応にも忙しいことでしょう。誰もが乗り越えなければならない試練です。頑張ってください。ご存じのように新型コロナウイルスも第7波に突入り、学生さんの感染報告も日に日に増えています。もはや、どこでどのように感染するのかもわからないくらいに拡がっていますが、各自で感染リスクを最小に抑えるよう日々の生活の中で気をつけて過ごして下さい。9月元気をまた見せて下さい。

快挙 黒羽巧真くん(不破研M1, 福島工業出身)が日本建築学会優秀卒業論文賞を受賞!

建築学生にとっての最高賞でもあり、昨年度の応募卒業論文の中から選ばれる日本建築学会優秀卒業論文賞に、不破研M1の黒羽君の昨年度の卒業論文「街道沿いに面するトタン葺民家の構成とその変容過程に関する研究 -福島県会津若松市大戸地区を対象として-」が選出されました。おそらく100編近い応募の中から選出されたもので、東大、京大、阪大、東北大など国立大生を受賞者の中で私立大での受賞は早稲田大、東海大の学生以外では本学の黒羽君を含めた3名。非常に素晴らしい成果です。

構造デザインコンテストで福屋研チームが最優秀賞を受賞

2022年学生卒業設計・制作 NCF 空間ディスプレイワードで木村華さんが優秀賞を受賞

福屋研究室4年生(菊地健汰さん、櫻田寛生さん、五十嵐健太さん、上村久志さん)大学院生武田亮さんのチームが制作したが作品「くもつぶ」が、JSCA東北支部「構造デザインコンテスト」で最優秀賞を受賞しました。テーマは「震災復興10年～語り部の想いをつなぐ」移動式伝承の場」でした。また、福屋研大学院生の木村華さんの卒業設計作品「空間を織る～着飾り、繕う建築～」が乃村文化財団主催のコンテストで優秀賞を受賞しました。



サイエンスデイ2022への参加 オープンキャンパスの開催

今年も子ども向けの体験型・参加型科学イベント『学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ』に参加しました。2年ぶりに会場で行われたイベントには2つの企画で参加。構造チーム:キミも今日からエンジニア!〜地震に強い建物を考えてつくってみよう〜(堀・船木研究室)、デザインチーム:建築家になって、家をデザインしよう!(中村研究室)ともに事前予約で定員をすべて埋める盛況ぶりでした。未来の建築学生が誕生することを願っています。また、大学主催のオープンキャンパスも7月23日・24日の2日間にわたって事前予約制で開催しました。こちらも多くの高校生が参加し、本学建築学部・建築学科の学びの一端を体感しました。本学で学ぶ興味と意欲を高める機会になったことと期待します。在学生のご協力にも心から感謝いたします。



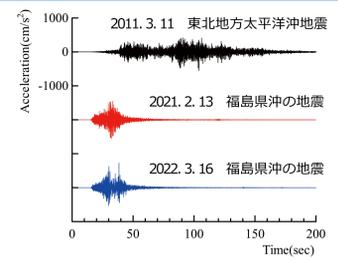
なかなか見ること、入ることのない教員室。そんな知られざる教員室をこれから不定期で写真で紹介! 5階の西端部 新井研から!



Pick Up Lab. 堀研究室では、地震に対して「強い」建物の研究をしています。そのため地震動の特性や、建物の揺れを抑える免震システムやダンパーを検討しています。昨年2月に引き続き、今年3月にも福島県沖で大きな地震がありました。そこで今年ならではの卒論として、今年、昨年、2011年の3つの地震について、地震動記録の分析、地震被害の比較を通じた、破壊力特性の検討を予定しています。今年3月の地震では長周期地震動階級4(通常の震度とは別の、周期の長い揺れに対する震度)が観測され、このような地震では、超高層ビル等が大きくゆっくりと長時間揺れる被害も懸念されています。



小型振動台と振動模型



相馬市で観測された東西方向の加速度



4年 八島 恵さん
聖光学院英智高校 出身

Pick Up Student 私は先日東北工業大学の大学院に進学することが決まりました。大学院では薛先生の下で制振構造を学ぶ予定です。大学院への進学は大学に入学した時から気になっていて、進学することで就職先の幅が広がる・学生の特権である自由な時間が増える・就職後の給料がいいなど自分に有利なことがたくさんあると思っています。その中でも特に私は自由な時間を使って一級建築士の勉強や海外旅行をしたいです。大学入学後、新型コロナウイルスで海外に行く機会がなくなってしまいました。建築を学んだ上で海外の建築物を見ることにとても憧れているので大学院では行きたいです。これから夏休みが始まります。時間が無限にあるものではないことを心に留めて過ごしたいと思います。



2年 千葉 洸暉くん
水沢高校 出身

Pick Up Student 本学に入学してから約1年と3ヶ月が経ちましたが、あっという間に時間が過ぎたように感じます。日々の講義や課題、サークル活動など充実した毎日を過ごせたのではないかと思います。1年生の時には様々なことを経験しながら建築を学びたいと考え、MSKWGに参加しました。また、1年後期には太白区共同講座を受講しました。これらの課外活動で貴重な経験をすることができただけでなく、実際に体験することで様々な発見や学びがありました。始めは慣れていないため上手くいかず苦労した作業もありましたが、試行錯誤していくのは楽しく、上手くできた時は嬉しさを感じました。これからも視野を広げて今だからこそできる体験から学びに繋がりたいと思います。